

先人達に学ぶ「川の恵みとその脅威」
～荒川の守り神、氷川神社を巡って～


2年間の学びの成果を川サミットへ

ICT利活用でつなぐ地域発信の輪

2007年4月26日作成

江戸川総合人生大学
国際コミュニティ学科2期生
江戸川ルネサンス

CONTENTS

- 
- 1, 企画概要
 - コンセプト/企画内容/狙い……………2
 - 具体的な活動、および作業について……3
 - 2, スケジュール……………4
 - 3, メンバー紹介……………5

企画名

荒川の守り神、氷川神社を巡って
「先人達に学ぶ川の恵みその脅威」

コンセプト

現代の川辺の生活者である私たちが、昔の川辺の
生活者達の川への思いを地図を辿りながらさぐる。



企画内容

～昔の地図と現在の地図をもちいて～

①現在の氷川神社各社（埼玉県に162社を東京都に68社）を東京を中心にできるだけ多くフィールドワークして、荒川にまつわる神社の関係性を調査する。調査内容を随時、電子地図にのせてWeb配信する。

②古地図をもちいて、当時の氷川神社の位置をポイントアップして、昔の川の流れと氷川神社の位置関係をさぐる。またそのポイントアップした古地図をWebsiteに載せる。

企画の狙い

かつて人々は、農業用水として恩恵をうける一方で水害に悩まされた荒川に対し畏敬の念をもっており、信仰の対象でもあった。

荒川の守り神として人々から信奉されてきた氷川神社の今昔を地図情報とともにWeb配信する事により、同じ川辺の生活者である現代の我々も、いま一度「川の恵みとその脅威」に思いを巡らす機会となることを期待するものである。

1-2

具体的な活動および作業

1、電子地図にデータをアップ

- ①メンバーで手分けして、各氷川神社へのフィールドワーク。
- ②神社に残る荒川との関連性のあるものも調査
- ③随時、ホームページに掲載。

データの精査、分析、検討

2、古地図に当時の氷川神社をポイントアップ

- ①江戸期末に編纂された本(新編武蔵風土記稿)より当時の氷川神社の位置と旧荒川の位置関係を調べ、古地図に色分けして載せる。
- ②作成した古地図をホームページに掲載。

データの精査、分析、検討

氷川神社と荒川の位置の検証
氷川神社の今昔を検証

3、荒川フィールドワークアップ

- ①荒川フィールドワークをHPに掲載。
- ②荒川の勉強会を有識者を招いて開催し、メンバーの知識の蓄積を図る。

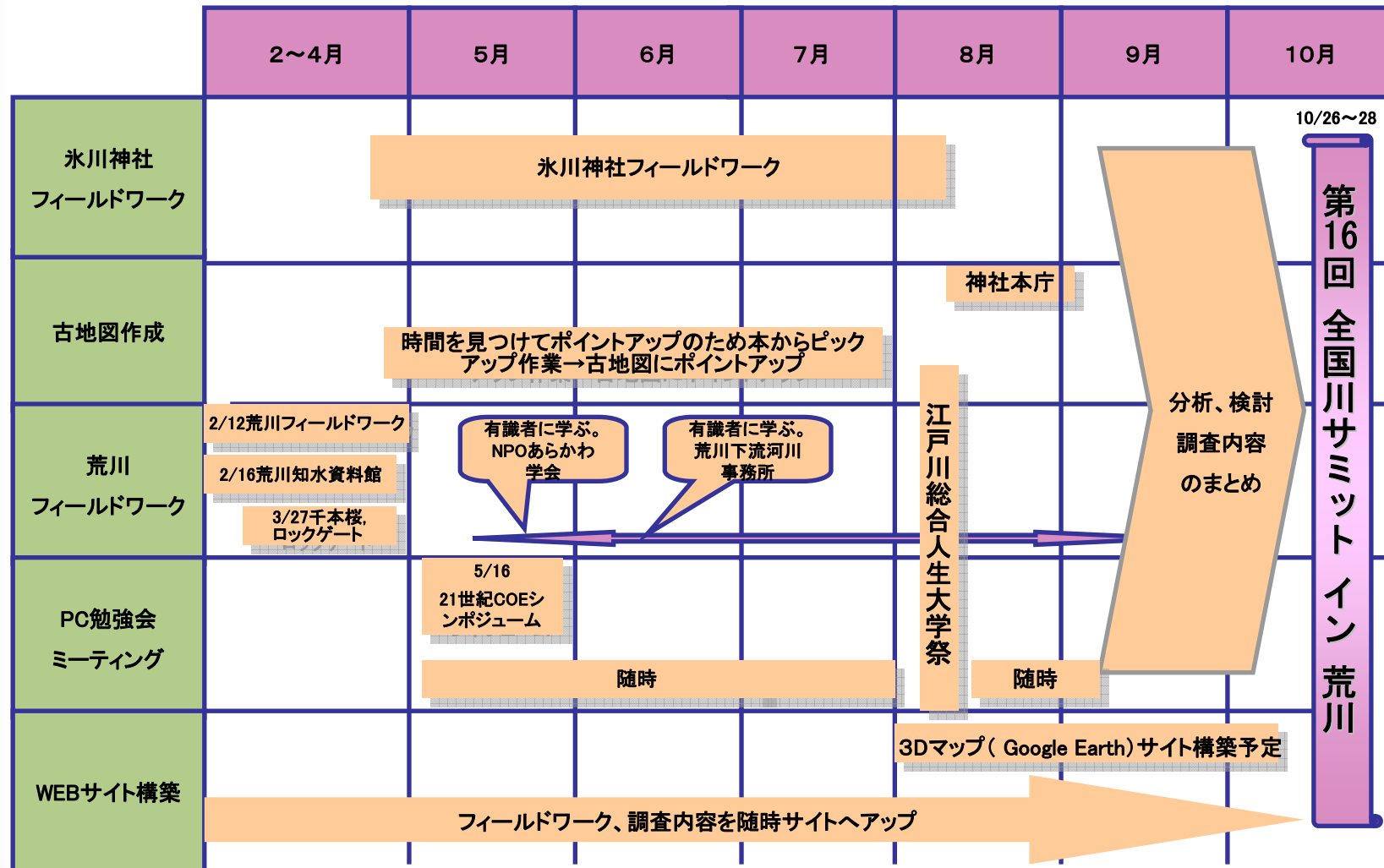
神社本庁にて遷座など不明なものについて調べる

…以上から検証結果を研究結果として発表する。

同じ川辺の生活者であった先人達の荒川に対する**恵みと畏敬の念**について学び、時代とともに変化してきた我々の川に対する意識を再考する機会となるよう研究成果をWebで配信する。

PCスキルアップ

スケジュール



江戸川ルネサンス

- ・ 佐藤 雅美
- ・ 戸塚 弘
- ・ 長坂 龍郎
- ・ 林 則夫
- ・ 吉川 和夫

